

平成29年3月23日

平成28年度実施の認証評価等の評価結果について

独立行政法人大学改革支援・学位授与機構では、学校教育法第109条、第123条及び学校教育法施行令第40条の規定に基づき、大学及び高等専門学校の認証評価を行っています。

このたび、平成28年度実施の認証評価等の評価結果を取りまとめ、文部科学大臣に報告するとともに、各対象機関及び設置者に通知しましたので、お知らせいたします。

また、認証評価とは別に、平成28年度に大学等の希望に応じて当機構が独自に行った選択評価の結果についても、あわせて公表いたします。

1. 認証評価

別紙2～4のとおり。

① 大学

〔評価対象機関〕 18大学（国立3大学、公立15大学）

〔評価結果〕 いずれの大学も、評価基準を満たしている。

② 高等専門学校

〔評価対象機関〕 4高等専門学校（国立4校）

〔評価結果〕 いずれの高等専門学校も、評価基準を満たしている。

2. 選択評価

別紙5及び6のとおり。

- ・評価事項A「研究活動の状況」（大学、高等専門学校）
- ・評価事項B「地域貢献活動の状況」（大学）
「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」（高等専門学校）
- ・評価事項C「教育の国際化の状況」（大学）

〈担当〉 独立行政法人大学改革支援・学位授与機構（本館：小平市学園西町）

評価事業部長 鎌塚 聡 (042-307-1606)

評価支援課長 那加野 知明 (042-307-1640)

評価支援課長補佐 福田 章 (042-307-1641)

* 資料提供後の問合せ先：3/23（木）は 090-2420-3013（18時まで）

〈法人統合のお知らせ〉

当機構は、平成28年4月1日より、独立行政法人国立大学財務・経営センターと統合し、「独立行政法人大学改革支援・学位授与機構」となりました。

平成28年度実施の認証評価等の評価結果について 配付資料一覧

資料1 大学機関別認証評価結果の概要

資料2 高等専門学校機関別認証評価結果の概要

<冊子>

○ 平成28年度実施の認証評価等に関する評価結果（合計4冊）

- ・平成28年度大学機関別認証評価実施結果報告 <水色冊子>
- ・平成28年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告 <黄色冊子>

（選択評価関係）

- ・平成28年度大学機関別選択評価実施結果報告 <水色冊子>
- ・平成28年度選択的評価事項に係る評価実施結果報告 高等専門学校 <黄色冊子>

<参考資料>

○ 「独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構」

認証評価及び選択評価について

認証評価

国・公・私立大学（短期大学を含む。）及び高等専門学校は、その教育研究水準の向上に資するため、教育研究、組織運営及び施設設備の総合的な状況に関し、7年以内ごとに、文部科学大臣が認証する評価機関（認証評価機関）の実施する評価を受けることが義務付けられています。

【参考：根拠法令】

学校教育法第109条第2項（抜粋）

大学は、前項の措置に加え、当該大学の教育研究等の総合的な状況について、政令で定める期間ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者（以下「認証評価機関」という。）による評価（以下「認証評価」という。）を受けるものとする。

学校教育法第123条

第37条第14項、第59条、第60条第6項、第94条（設置基準に係る部分に限る。）、第95条、第98条、第105条から第107条まで、第109条（第3項を除く。）及び第110条から第113条までの規定は、高等専門学校に準用する。

学校教育法施行令第40条

法第109条第2項（法第123条において準用する場合を含む。）の政令で定める期間は7年以内、法第109条第3項の政令で定める期間は5年以内とする。

選択評価

認証評価とは別に、機構が独自に行う第三者評価として、大学は「研究活動の状況」「地域貢献活動の状況」「教育の国際化の状況」の3つを機関別選択評価事項として、高等専門学校は「研究活動の状況」「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」の2つを選択的評価事項として定め、大学等の希望に応じて評価を実施しています。

【評価事項】

	評価事項A	評価事項B	評価事項C
大学	研究活動の状況	地域貢献活動の状況	教育の国際化の状況
高等専門学校	研究活動の状況	正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況	—

平成28年度実施の認証評価の評価結果

1. 大学機関別認証評価 (評価対象機関【18大学】)

評価基準を満たしている

- (国立) ・ 埼玉大学
- (公立) ・ 秋田県立大学
- ・ 石川県立大学
- ・ 兵庫県立大学
- ・ 福岡県立大学
- ・ お茶の水女子大学
- ・ 前橋工科大学
- ・ 静岡文化芸術大学
- ・ 岡山県立大学
- ・ 福岡女子大学
- ・ 広島大学
- ・ 首都大学東京
- ・ 京都府立大学
- ・ 福山市立大学
- ・ 大分県立看護科学大学
- ・ 富山県立大学
- ・ 大阪府立大学
- ・ 九州歯科大学

評価基準を満たしていない

該当なし

2. 高等専門学校機関別認証評価 (評価対象機関【4高等専門学校】)

評価基準を満たしている

- (国立) ・ 仙台高等専門学校
- ・ 香川高等専門学校
- ・ 富山高等専門学校
- ・ 熊本高等専門学校

評価基準を満たしていない

該当なし

平成28年度大学機関別認証評価結果の概要

評価結果

〔評価対象機関〕 18大学（国立3大学、公立15大学）

〔評価結果〕 いずれの大学も、当機構が定める大学評価基準を満たしている。

※ 詳細は「平成28年度大学機関別認証評価実施結果報告」＜水色冊子＞参照

評価結果のポイント

大学機関別認証評価の2巡目（平成24～30年度）では、「大学における教育の質保証システム」「学習成果」及び「教育情報の公表」を重視しており、これら3点に係る今年度の主な指摘事項は、以下のとおり。

【大学における教育の質保証システム】

自己点検・評価により見出された諸課題を改善に結び付けるシステムを整備するとともに、授業内容を具体的に改善するなど、教育の質を向上させる取組が行われている例

- ・学部及び研究科の教育活動に係る年次報告、改善報告に対する教育質保証委員会の評価を通じた全学的なPDCAサイクルの構築（広島大）
- ・教育の質の改善や向上について、年度当初に課題や方策を抽出し、年度末には対応結果に学長の方針を付して翌年度以降につなげるPDCAサイクルを継続（富山県立大）
- ・授業改善の例等を掲載した「教員用授業ハンドブック」による授業の円滑な実施と質の向上のための工夫（埼玉大）
- ・学生の能動的な学習を促す授業実践例などを紹介した「授業改善ハンドブック」の発行（首都大学東京）
- ・他大学と共通の卒業生調査を活用した相互評価、データ比較による質保証（大阪府立大）

【学習成果】

身につけた能力に対する学外関係者からの意見聴取の例

- ・卒業生が在学中に身につけた能力等に対する就職先からの高い評価（福山市立大）

【大学における教育情報の公表】

社会に対する情報発信の工夫がみられる例

- ・全国大学サイト・ユーザビリティ調査で高い評価を受け、大学情報を分かりやすく発信（大阪府立大）

認証評価委員会の所見

今年度の評価対象は公立の大学が中心であり、地域に貢献する人材の育成や教育支援者の配置状況などに特徴が見られ、大学の目的や状況に応じた柔軟な評価が求められた。

評価対象大学における優れた取組としては、学習の到達目標を専攻分野ごとに明確にした上で、その目標の達成に向けた教育課程を教養教育と整合した形で編成し、これをカリキュラム・マップやシラバスに明示している大学が見受けられる。他方、一部の大学では、成績評価の客観性及び厳格性を担保する組織的な取組が十分でない点が課題として残された。

また、教育の質保証システムについては、自己点検・評価で見出された諸課題を質の向上や改善に結び付ける過程（PDCAサイクルに例えた場合のアクション）を持続的に機能させることが期待される。

（裏面に用語解説あり）

用語解説

【PDCAサイクル】

PDCAサイクルとは、仕事を行う上で業務を円滑に進めるための手法。サイクルを構成する計画（Plan）、実行（Do）、検証（Check）、改善（Act）の4つの段階があり、その4段階を繰り返すことによって、これまでの業務の質の向上が見込まれ、仕事をスムーズに続けることができる。

【カリキュラム・マップ（履修系統図）】

学生が身につけることが期待される知識・技能・態度と授業科目との間の対応関係や学修の道筋を示した図の総称。学生と教職員がカリキュラム全体の構造を俯瞰できるようにすることで、体系的な履修を促す意図を持つ。カリキュラム・チャートとも呼ばれる。

【シラバス】

学生が授業科目の履修を決める際の参考資料や準備学習を進めるために用いられる各授業科目の詳細な授業計画。一般に、授業科目名、担当教員名、講義目的、毎回の授業内容、成績評価方法・基準、準備学習のための具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等が記載されている。また、教員相互の授業内容の調整や、学生による授業評価等にも使われる。

平成28年度高等専門学校機関別認証評価結果の概要

評価結果

〔評価対象機関〕 4高等専門学校（国立4校）

〔評価結果〕 いずれの高等専門学校も、当機構が定める高等専門学校評価基準を満たしている。

※ 詳細は「平成28年度高等専門学校機関別認証評価実施結果報告」＜黄色冊子＞参照

評価結果のポイント

2巡目（平成23～29年度）の認証評価では、「創造性を育む教育方法の工夫（技術者教育としての特色）」「教育の目的の達成状況を把握・評価するための適切な取組」及び「教育の質の向上及び改善のためのシステム」を重視しており、これら3点に係る今年度の主な指摘事項は、以下のとおり。

【創造性を育む教育方法の工夫】

- ・ 準学士課程では、創造性育成活動に取り組んでおり、各種コンテストへの参加と関連付ける形で各学科の授業科目の中で創造性を育む教育方法の工夫を図っている。そうした工夫の結果は、アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト、全国高等専門学校プログラミングコンテスト等での受賞や活躍という具体的な成果につながっている。（香川高専）

【教育の目的の達成状況を把握・評価するための取組】

- ・ 就職について、準学士課程、専攻科課程ともに就職率（就職者数／就職希望者数）は極めて高く、就職先も当校が育成する技術者像にふさわしいものとなっている。進学についても、準学士課程、専攻科課程ともに進学率（進学者数／進学希望者数）は極めて高く、進学先も学科・専攻の分野に関連したものとなっている。（ほぼ4高専に共通）

【教育の質の向上及び改善のためのシステム】

- ・ 相互公開授業等を通じて授業の改善を目指す教育改善グループの活動や、他の教員のシラバス記載内容についてチェックを行う科目連携グループの活動等、個々の教員による教育の質の向上・改善の取組が活発に行われている。（熊本高専）

【その他の主な優れた点】

- ・ 留学を希望する学生のために、学校が推奨する半年及び1年の留学制度を設けるとともに、外国の高等学校又は大学における履修を当校の授業科目の履修と見なす制度を設けており、短期留学プログラムへの参加を含め、年間75人程度の学生が留学している。（富山高専）

認証評価委員会の所見

2巡目においては、本年度も含めこれまでの各年度において、各高等専門学校に教育の状況や成果を把握・評価する取組が定着してきていることが認められる。また同様に、教育の内部質保証（教育の総合的状況に関する自己点検・評価とそれに基づく改善）に関して、その重要性が認識されつつあることが認められる。なお、前回（1巡目）の評価において指摘された事項に関しては、改善の取組が行われており、認証評価が改善を促す要因として効果的に機能していることが認められる。

平成28年度大学機関別選択評価結果の概要

評価結果

〔選択評価事項A「研究活動の状況」〕(公立3大学)

- ・ 目的の達成状況が極めて良好である。
大阪府立大学
- ・ 目的の達成状況がおおむね良好である。
福山市立大学、大分県立看護科学大学

〔選択評価事項B「地域貢献活動の状況」〕(国立1大学、公立6大学)

- ・ 目的の達成状況が極めて良好である。
大阪府立大学、九州歯科大学
- ・ 目的の達成状況が良好である。
埼玉大学、前橋工科大学、京都府立大学、福山市立大学、大分県立看護科学大学

〔選択評価事項C「教育の国際化の状況」〕(私立1大学)

- ・ 目的の達成状況が極めて良好である。
桜美林大学

	埼玉大学	前橋工科大学	大阪府立大学	京都府立大学	福山市立大学	九州歯科大学	大分県立看護科学大学	桜美林大学
評価事項A	—	—	極めて良好	—	おおむね良好	—	おおむね良好	—
評価事項B	良好	良好	極めて良好	良好	良好	極めて良好	良好	—
評価事項C	—	—	—	—	—	—	—	極めて良好

極めて良好：目的の達成状況が極めて良好である。 良好：目的の達成状況が良好である。
 おおむね良好：目的の達成状況がおおむね良好である。 不十分：目的の達成状況が不十分である。 —：選択せず。

※ 詳細は「平成28年度大学機関別選択評価実施結果報告」＜水色冊子＞参照

評価結果のポイント

- ・ 学内インセンティブ事業の実施は、部局を越えた研究の異分野連携（教員間のマッチング）により、継続的に高い水準で科研費等の外部資金を獲得（大阪府立大・選択A）
- ・ 科学の楽しさを地域の小中高校生に伝える科学実験イベント「なかもず科学の泉」は、授業の中で学生が開発したユニークな科学実験を利用し、文部科学大臣表彰を受けるなど高い評価を獲得（大阪府立大・選択B）
- ・ 地域医療の中核的役割を果たす理念のもと5つの地域貢献関連センター等を設置し、大学、企業、行政等と連携した特色ある取組を展開（九州歯科大・選択B）
- ・ 国際化に対応する組織体制の一環として、アメリカ、中国を含む5か所の海外拠点を整備し、留学生募集、試験実施等に積極的に活用（桜美林大・選択C）

平成28年度高等専門学校 選択的評価事項に係る評価結果の概要

評価結果

〔選択的評価事項A「研究活動の状況」〕

(国立4校)

- ・ 目的の達成状況が良好である。
仙台高等専門学校、富山高等専門学校、香川高等専門学校、熊本高等専門学校

〔選択的評価事項B「正規課程の学生以外に対する教育サービスの状況」〕

(国立4校)

- ・ 目的の達成状況が良好である。
仙台高等専門学校、富山高等専門学校、香川高等専門学校、熊本高等専門学校

※ 詳細は「平成28年度選択的評価事項に係る評価実施結果報告 高等専門学校」
＜黄色冊子＞参照